

2026

授業計画（シラバス）

杉野服飾大学 服飾文化学科

3年次（2024年度生）

レプリカ製作（歴史衣装）

菅野 ももこ、宮澤 光与

服飾文化学科 3年 前期 必修（2単位 実験実習）

授業の方針・概要

本授業では、英国の舞台衣装デザイナー兼、歴史衣装家であるジャネット・アーノルド（Janet Arnold, 1932-1998）の著書である『ファッションの型紙』（Patterns of Fashion 3: The Cut and Construction of Clothes for Men and Women C. 1560-1620）を主な参考資料として用い、1/2サイズの歴史衣装のレプリカを制作する。

到達目標（学修成果）

歴史上に散見される衣服制作の方法の中には、現代の私達にはなじみの無いものも多い。そこには各時代、各様式の中で理想とされた美意識が反映されている。レプリカを制作する過程で、多様な衣服の形態や縫製方法を学び、新たな創造の糧となるよう理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業要件科目です。実験実習授業です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内容に応じて用意する課題レポートについては、添削やコメントを付して対面で返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし。必要に応じて資料を配布します。

参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

状況により、日程や内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 菅野	オリエンテーション、授業予定についての説明 参考文献Patterns of Fashion 2の紹介	予習：シラバスの確認	30分
2回 菅野	手縫いのトレーニング - 指ぬきを使用したランニングステッチの練習 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
3回 菅野	型紙のトレースと縫製手順の確認	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
4回 菅野	実物制作 - 裁断 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
5回 菅野	実物制作 - 身頃の縫製 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
6回 菅野	実物制作 - 袖と衿の縫製 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
7回 菅野	実物制作 - ボタンの作成とコード、フリンジの留め付け -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
8回 菅野	実物制作 - スカートの縫製 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
9回 菅野	実物制作 - ポケットの縫製 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
10回 菅野	実物制作 - ベルトの作成とかぎホックの留め付け -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
11回 菅野	1/2トルソーへの着装と観察、撮影	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
12回 菅野	レポート作成 - 参考資料の検索 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
13回 菅野	レポート作成 - 必要画像の撮影、整理 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
14回 菅野	レポート作成 - テキストデータ整理 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
15回 菅野	総括 - 制作したレプリカとレポートの提出 -	予習：ディスカッションの準備	30分

衣の伝統と現代 (衣の民俗文化)

梅谷 知世

服飾文化学科 3年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日本各地で生まれ、継承されてきた伝統的な織りや染めについて、その技法と意匠の特色を歴史的視点から捉えるとともに、産地でのフィールドワークを通して実践的に学びます。本授業ではとくに、大島紬と結城紬を中心とする絣織物に着目します。自治体や産地組合へのインタビュー、地域の人びととの交流など地域と連携した学修を取り入れ、伝統染織産地の課題とその解決への取り組みを理解します。

到達目標 (学修成果)

- ・大島紬および結城紬を中心とする絣織物について、技法・意匠および着用の変遷を、近現代の和服の展開と関連づけて理解し、説明できる。
- ・フィールドワークを通して得た知見をもとに、伝統染織産地の課題を分析できる。
- ・伝統染織を文化および産業として次世代につなぐための具体的な提案ができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾文化学科の専門必修科目で、卒業要件科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内課題について授業時にフィードバックを行います。授業内容についての質問や相談には随時対応します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

教科書は使用しません。授業内容に応じて資料プリントを配布します。

参考文献

梅谷・笹部・中村「在庫反物活用による洋服提案と伝統織物産地の活性化 - 地域から広げる本場奄美大島紬継承の可能性 - 」2026年3月 (授業時に配布します)

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

フィールドワークは、大島紬産地 (鹿児島県奄美大島) 訪問グループと結城紬産地 (茨城県結城市) 訪問グループに分かれて実施します。希望者は両方に参加することもできます。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 梅谷	イントロダクション 授業の目的と構成 / 織機の基本構造	シラバスを確認し授業の進め方について把握する。	30分
2回 梅谷	日本の伝統的な織りの技法 / 日本各地の絣織物	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む	60分
3回 梅谷	近代における大島紬・結城紬の技術革新と意匠の展開	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む	60分
4回 梅谷	現代における大島紬・結城紬の技術革新と意匠の展開	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む	60分
5回 梅谷	現代における大島紬・結城紬の技術革新と意匠の展開②	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む	60分
6回 梅谷	フィールドワークの方法 観察・聞き取り・記録の基本	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む	60分
7回 梅谷	7回～12回はフィールドワーク 図案作成の工程を学ぶ (大島紬 / 結城紬)	見学レポートに取り組む	60分
8回 梅谷	製作工程を体験する (大島紬: 泥染め体験 / 結城紬: 糸とり体験)	体験レポートに取り組む	60分
9回 梅谷	工房見学 職人の技を知る (大島紬: 締機・織り / 結城紬: 染め・拵り)	見学レポートに取り組む	60分
10回 梅谷	工房見学 職人の技を知る (大島紬: 加工工程 / 結城紬: 地機による織り)	見学レポートに取り組む	60分
11回 梅谷	産地関係者へのインタビュー (大島紬: 泥染め職人、機屋 / 結城紬: 産地問屋)	インタビュー調査の内容をまとめる	60分
12回 梅谷	産地組合・自治体・地域住民へのインタビュー 産地の課題と取り組みを知る	インタビュー調査の内容をまとめる	60分
13回 梅谷	フィールドワーク報告 大島紬・結城紬の魅力伝える	プレゼンテーションの振り返りを行う	60分
14回 梅谷	次世代への継承に向けた提案 プレゼンテーションとディスカッション	プレゼンテーションの振り返りを行う	60分
15回 梅谷	まとめ	最終課題の提出	60分

服飾文化演習 A

鈴木 桜子

服飾文化学科 3年 前期 選択必修 (1単位 演習)

授業の方針・概要

有史以来、人々が営んできた衣生活が文化として生まれ、現在にまで至った経緯を振り返る時、装いの歴史と文化は多様性と多義性をもって進展してきたことがわかります。2年間杉野で学んできたいま、あなたは装いの世界にどのような視点を持っていますか？新たにどのような関心を持っていますか？

本授業では、「ファッション」に関してどのような視点を持ち得ることができるのか、それに対してどのようなアプローチができるのか、資料調査、テキストの講読(和文・英文)、プレゼンを通して考えていきます。

到達目標(学修成果)

ファッション文化形成のこれまでとこれからに向けた自らの視点を持ち、卒業研究への意識を高めていくことを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾文化学科の選択必修科目として卒業認定単位となります。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

少人数のゼミ形式のため、常に授業内では対話、ディスカッションによるフィードバックを行なっています。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業内容に応じて紹介します。

参考文献

授業内容に応じて紹介します。

オフィスアワー・研究室

最初の授業回で確認します。

備考

「資料調査の検討」の回では、学外調査(国会図書館、専門資料館、展覧会等)に足を運ぶことがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	ガイダンス	ファッション文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
2回 鈴木	ファッション文化研究の現在、テキスト紹介	ファッション文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
3回 鈴木	資料調査の検討	ファッション文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
4回 鈴木	資料調査の検討	ファッション文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
5回 鈴木	資料調査の検討	ファッション文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
6回 鈴木	研究論文講読	現時点の自らの関心テーマについて改めて考える	60分
7回 鈴木	研究論文講読	現時点の自らの関心テーマについて改めて考える	60分
8回 鈴木	第3回～7回のまとめ(プレゼンと評価)	現時点の自らの関心テーマについて改めて考える	90分
9回 鈴木	テキスト紹介	ファッション文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
10回 鈴木	資料調査の検討	ファッション文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
11回 鈴木	資料調査の検討	ファッション文化にかかわる歴史的な視点を持ち、日頃から関心や疑問を持つ。	60分
12回 鈴木	研究論文講読	現時点の自らの関心テーマについて改めて考える	60分
13回 鈴木	研究論文講読	現時点の自らの関心テーマについて改めて考える	60分
14回 鈴木	研究論文講読	現時点の自らの関心テーマについて改めて考える	60分
15回 鈴木	第10回～第14回のまとめ(プレゼンと評価)	現時点の自らの関心テーマについて改めて考え、後期以降の学修に繋げる	90分

服飾文化造形演習 A

井口 多恵子

服飾文化学科 3年 前期 選択必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

1年次、2年次で学んだサステナビリティ関連科目の知識や技術を十分に活用し、服飾に関係する現代的な問題 (SDGs 等) についてチームを組んで発信できる取り組みを考えます。学修の場を「地域」という身近なフィールドに広げて、社会の一員、地域の一員という意識を持ち、地域社会との交流を通じてコミュニケーション力、問題解決力、実行力などを養い、実践できることを探りチャレンジします。

到達目標 (学修成果)

実践できる取り組みを考える発想力、提案力、実行力を身につけることができる。
社会の一員として求められるコミュニケーション力、問題解決力を身につけることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾文化学科の選択必修科目で卒業要件の科目です

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業の記録レポートを作成し、毎授業終了時に提出します。点検、評価し、コメントします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

必要に応じて適宜お知らせします

オフィスアワー・研究室

初回授業にお知らせします

備考

状況により、内容や日程に変更があります

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 井口	オリエンテーション 授業の概要について	予習：シラバスを読む	30分
2回 井口	環境に関連する取り組みの趣旨説明 (自治体関係者の講義) 事例紹介	復習：授業内容をまとめる	30分
3回 井口	取り組み内容の情報収集、立案と検討、試作	復習：授業内容をまとめる	30分
4回 井口	取り組み内容の情報収集、立案と検討、試作	復習：授業内容をまとめる	30分
5回 井口	取り組み内容の情報収集、立案と検討、試作	復習：授業内容をまとめる	30分
6回 井口	取り組み案の資料作成	復習：授業内容をまとめる	30分
7回 井口	プレゼンテーション、ディスカッション 取り組み内容の検討、グループ分け	復習：授業内容をまとめる	30分
8回 井口	グループワーク (各グループで進め方を検討する)	復習：授業内容をまとめる	30分
9回 井口	グループワーク	復習：授業内容をまとめる	30分
10回 井口	グループワーク	復習：授業内容をまとめる	30分
11回 井口	グループワーク	復習：授業内容をまとめる	30分
12回 井口	グループワーク	復習：授業内容をまとめる	30分
13回 井口	資料作成	復習：授業内容をまとめる	30分
14回 井口	資料作成	復習：授業内容をまとめる プレゼンテーションの準備をする	60分
15回 井口	まとめ プレゼンテーション、ディスカッション	復習：授業内容をまとめる	30分

エシカル・ファッション実習

井口 多恵子

服飾文化学科 3年 後期 必修 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

3年次前期までの学修の積み重ねのもとにエシカルなファッションとは何か、衣服を作る目的からデザイン、製作・生産に至る考え方のプロセスを重視し、環境、人権、地域社会、産業文化を視野に入れたファッションの在り方を実制作につなげていきます。本科目では作るターゲットに対してどんなことを配慮しているか、作るターゲットに対して「やさしい」服に作られるように工夫しているか、など、作る視点を絞り、考えて制作していきます。

到達目標(学修成果)

制作作品のテーマ、プロセスを理解し、発信力、提案力を身に付ける
作品制作に必要な縫製技術を身に付ける

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件単位の科目です。服飾に関係する現代的な問題(SDGs等)を解決する能力を備える科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

提出される課題、作品は点検後評価し、授業内に返却する。または学生ポータルサイトにコメントする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

必要に応じて適宜紹介します

オフィスアワー・研究室

初回授業にお知らせします。

備考

状況により内容、日程に変更があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 井口	オリエンテーション 事例紹介 情報収集	予習: シラバスを読んで確認する	30分
2回 井口	アパレル業界での取り組み事例紹介 (ゲストスピーカー)	復習: 授業内容をまとめる	30分
3回 井口	制作テーマ考案 情報収集	復習: 授業内容をまとめる	30分
4回 井口	制作テーマについてのグループディスカッション	復習: 授業内容をまとめる	30分
5回 井口	制作テーマ、アイテムの検討、デザインの考案	復習: 授業内容をまとめる	30分
6回 井口	制作のプロセスの検討、試作	復習: 授業内容をまとめる	30分
7回 井口	制作のプロセスの検討、試作	復習: 授業内容をまとめる	30分
8回 井口	実物作品制作	復習: 授業内容をまとめる	30分
9回 井口	実物作品制作	復習: 授業内容をまとめる	30分
10回 井口	実物作品制作	復習: 授業内容をまとめる	30分
11回 井口	実物作品制作	復習: 授業内容をまとめる	30分
12回 井口	実物作品制作	復習: 授業内容をまとめる	30分
13回 井口	実物作品制作	復習: 授業内容をまとめる	30分
14回 井口	実物作品、仕上げ プレゼンテーションの資料作成	復習: 授業内容をまとめる 予習: プレゼンテーションの準備	60分
15回 井口	プレゼンテーション発表、提出作品のディスカッション まとめ	復習: 授業内容をまとめる	30分

衣の伝統と現代 (衣のもののづくり)

大久保 尚子

服飾文化学科 3年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日本で受け継がれてきた衣にかかわる多様な染織技法のうち、特に注染を中心とする型染めの表現効果、意匠、受容のありかたの関係について、講義により今日に至る歴史展開に対する理解を深め、また作品の熟覧と染色体験により実践的に学びます。伝統的な衣のもののづくりの発展的継承の可能性について、企画と製作の現場に触れながら具体的に考え、広い視野に基づく提案力を養います。

到達目標(学修成果)

- ・関東圏の注染を中心とした伝統的な型染めによるもの作りの歴史と現在、課題を把握し、発展的な継承につながる情報発信や提案を試みることができる。
- ・注染の技法特性を理解し、これを活かした図案もしくは意匠原案を示すことができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業課題、レポート提出には学内システム利用予定。学外活動関係連絡にはメールも活用するため、担当者のアドレスを授業時にお知らせします。授業内の課題と授業期間中のレポートについては、授業内でフィードバックを行います。期末課題については学内システムでフィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

教科書は用いず、配布資料プリントによって授業を進めます。

参考文献

大久保尚子「東京中形浴衣の近代化と注染の展開 同時代化する手仕事」2022年6月 授業時に配布
その他授業内で示します。

オフィスアワー・研究室

前期：授業のある金曜日(12時30分～13時)第3校舎講師控え室 後期：なし(連絡先：本校舎一階教務課)

備考

学外での染色体験、企業訪問、見学の実施回は、関係機関の事情等により変更する場合があります、これと連動して教室での授業の内容も前後入れ替わる可能性があります。詳細は授業時に示します。染色体験、展覧会入館料、現地への交通費は実費が必要となります。学外活動先は23区内を予定しています。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 大久保	日本の伝統的染織技法に関する基礎知識の概説。	予習：シラバスに目を通す。東京本染注染サイトを閲覧する。 https://tokyochusen.jp/	30分
2回 大久保	型染めの歴史の概説、技法特性と意匠、用途の関係。注染技法の概要。	予習：東京本染注染サイトを閲覧する。 復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
3回 大久保	江戸東京圏の注染技法とその歴史、意匠、受容(用途)の概説。他技法との比較、地域特性としての配り手拭いの文化。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
4回 大久保	昭和期注染手ぬぐい作例にみる技法を活かす意匠。体験的理解のための図案制作 注染図案の基本。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
5回 大久保	注染体験1 注染技法の特性を、体験を通し理解する。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：レポートに取り組む。	30分
6回 大久保	注染体験2 体験工房の活動について学ぶ。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：レポートに取り組む。	30分
7回 大久保	伝産法による「伝統的工芸品」指定とは。伝統的工芸品産業の抱える課題と支援策、東京本染注染の場合。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
8回 大久保	伝統工芸 青山スクエア見学。伝統的工芸品産業振興の取り組みについて学ぶ。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：見学レポートに取り組む。	30分
9回 大久保	江戸東京の型染めゆかたの文化、その近代化と注染浴衣地製作の展開について学ぶ。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
10回 大久保	図案製作 メッセージ性のある手拭い図案。秀作にみる意匠の発想。図案、染め技法と伊勢型紙系の型紙製作。歴史と現状。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：授業時に示す課題に取り組む。	30分
11回 大久保	製造問屋訪問 ゆかた地問屋の歴史と注染による新たな取り組み。/別注手ぬぐい製作を多く扱う問屋の仕事を知る。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：見学レポートに取り組む。	40分
12回 大久保	注染工場見学 職人の技術力、製作現場を知る。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：見学レポートに取り組む。	40分
13回 大久保	製造問屋訪問 手ぬぐい、ゆかた地問屋の注染による新たな取り組みを知る。	予習：前回授業で示した予習課題に取り組む。 復習：見学レポートに取り組む。	40分
14回 大久保	ゆかた、手ぬぐいを手掛けるデザイナーの仕事を知る。(ゲストスピーカーとの対話)手ぬぐい図案のプレゼンと講評。	予習：図案に取り組む。復習：授業時に示す課題に取り組む。	60分
15回 大久保	東京本染注染の特色、魅力を伝える情報発信、商品企画の提案の素案をプレゼンし、相互に意見交換を行う。	予習：最終課題の概要を準備する。 復習：最終課題提出準備。	120分

服飾文化演習 B

梅谷 知世

服飾文化学科 3年 後期 選択必修 (1単位 演習)

授業の方針・概要

この演習では、日本を中心とするアジアの服飾文化・染織文化を対象とし、それらの歴史的な位置づけや現代社会への継承の問題などを考えていく。具体的には、受講者の関心に基づいたテーマに関する論文・研究書を全員で読み進めていく。毎回の授業では、担当者（受講者）がテキストの要約と発展的内容の発表を行い、全員でディスカッションを行う。これにより、日本およびアジアの服飾文化・染織文化の研究に必要な視点・方法・問題意識を学んでいく。さらに、今後の自らの研究テーマを探ることを目標とする。卒業研究で日本およびアジアの服飾・染織に関する論文執筆を考えている学生は、履修することが望ましい。

到達目標（学修成果）

- ・日本およびアジアの服飾・染織文化に関する研究の視点と方法を理解する。
- ・今後の自らの研究の方向性について主体的に考えられるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾文化学科の選択必修科目で、卒業認定科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各自の発表について授業内でコメントを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

使用しません。テーマに応じて資料を配布します。

参考文献

授業時に紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

この演習を履修する方は、3年前期に「近代日本モード史」を受講することが望ましいです。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 梅谷	ガイダンスー服飾文化・染織文化研究の視点	「日本服飾文化史」「近代日本モード史」「民族衣裳論」の授業内容を復習しておく。	30分
2回 梅谷	オンラインを活用した資料検索方法について	「日本服飾文化史」「近代日本モード史」「民族衣裳論」の授業内容を復習しておく。	60分
3回 梅谷	講読論文の選択	発表課題の準備を行う。	60分
4回 梅谷	論文の読み方（論文の構成・資料の検討）	発表課題の準備を行う。	60分
5回 梅谷	論文の読み方（論文の構成・資料の検討）②	発表課題の準備を行う。	60分
6回 梅谷	論文の講読（発表とディスカッション）	発表・ディスカッション内容をもとに、さらに服飾・染織文化に関する知見を深める。	60分
7回 梅谷	論文の講読（発表とディスカッション）②	発表・ディスカッション内容をもとに、さらに服飾・染織文化に関する知見を深める。	60分
8回 梅谷	論文の講読（発表とディスカッション）③	発表・ディスカッション内容をもとに、さらに服飾・染織文化に関する知見を深める。	60分
9回 梅谷	論文の講読（発表とディスカッション）	発表・ディスカッション内容をもとに、さらに服飾・染織文化に関する知見を深める。	60分
10回 梅谷	論文の講読（発表とディスカッション）	発表・ディスカッション内容をもとに、さらに服飾・染織文化に関する知見を深める。	60分
11回 梅谷	論文の講読（発表とディスカッション）	発表・ディスカッション内容をもとに、さらに服飾・染織文化に関する知見を深める。	60分
12回 梅谷	論文の講読（発表とディスカッション）	発表・ディスカッション内容をもとに、さらに服飾・染織文化に関する知見を深める。	60分
13回 梅谷	各自のテーマを探る①	今後の個人研究のテーマを考える。	60分
14回 梅谷	各自のテーマを探る②	今後の個人研究のテーマを考える。	60分
15回 梅谷	まとめ	演習の内容を振り返り、卒業論文計画につなげる。	60分

服飾文化造形演習 B

菅野 ももこ

服飾文化学科 3年 後期 選択必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

様々な国や地域、時代によって異なる衣服の形を理解するためには、衣服について多角的に学ぶ必要があります。また、理解したことを他者に伝えるために、情報を整理することは、より深い学びに繋がります。本授業では、前年度および本年度前期の授業で制作したトワルを基に、服飾の文化ならびにその造形について理解を深めるとともに、制作物を公開することを想定して、解説文の執筆、マネキンへの着装を行う。

到達目標 (学修成果)

衣服の文化とその造形について幅広い視野をもって学ぶことができる。
制作の工程や収集した情報を整理する術を身に付け、理解を深めることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、卒業要件科目の演習授業です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内容に応じて用意する課題レポートについては、添削やコメントを付して対面で返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

状況により、日程や内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 菅野	オリエンテーション	予習：シラバスの確認	30分
2回 菅野	公開を想定したトワルの作成 - 裁断と制作工程の撮影および記録 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
3回 菅野	公開を想定したトワルの作成 - 縫製と制作工程の撮影および記録 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
4回 菅野	公開を想定したトワルの作成 - 縫製と制作工程の撮影および記録 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
5回 菅野	公開を想定したトワルの作成 - 縫製と制作工程の撮影および記録 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
6回 菅野	公開を想定したトワルの作成 - 縫製と制作工程の撮影および記録 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
7回 菅野	公開を想定したトワルの作成 - 縫製と制作工程の撮影および記録 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
8回 菅野	トワルの公開方法の検討 - 展示計画を立てる -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
9回 菅野	トワルの公開方法の検討 - 展示解説作成のための参考文献リサーチ -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
10回 菅野	トワルの公開方法の検討 - 展示解説作成のための参考文献リサーチ -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
11回 菅野	トワルの公開方法の検討 - 展示解説作成 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
12回 菅野	トワルの公開方法の検討 - 展示解説作成 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
13回 菅野	トワルの公開方法の検討 - 展示解説の作成とパネル化 -	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
14回 菅野	トワルの公開方法の検討 KCIミュージアムマネキンを使用した着装	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
15回 菅野	総括、制作と公開方法についてのディスカッション	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分

衣服修復技術

鈴木 史子

服飾文化学科 3年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

衣服は近年文化財としての価値が確立し、ファッションの展覧会の開催やそのものの保存研究が盛んにおこなわれ始めています。本科目では、平面構成の衣服やタペストリー等の染織品とは違う半立体的な洋服の修復・補修技術を学びながら文化財の保存・公開の必要性を包括的に学修します。講義形式で進めますが、修復体験としてディスカッションと実習をおこないます。

到達目標 (学修成果)

洋服の修復について理解を深める。修復計画を提示できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は服飾文化学科の専門必修科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内の提出物は次の授業時間にフィードバックします。授業時間外の質問はメールかオフィスアワーで受け付けます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	10%

教科書

なし。

参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

授業の進捗により授業計画が変動する可能性があります。授業では毎回簡単な意見の提案や質問の投げかけをします。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション、修復・補修の解説。	予習：シラバスで授業内容の確認。	30分
2回 鈴木	補修技術 補修技術の種類・複数人で修復方針を決める必要性の解説、具体的な補修技術の説明。	復習：補修技術の種類、ステッチの種類と刺し方をまとめる。	30分
3回 鈴木	天然繊維と化学繊維の修復 (絹・ウール) 修復に用いる道具、絹・ウールが使用されている資料の紹介。	予習：西洋服飾史における各時代の素材の流行を把握しておく。	30分
4回 鈴木	天然繊維と化学繊維の修復 (植物繊維とナイロン、ゴミ) 以外の素材資料の紹介。絹との差異について。	復習：素材毎の修復について授業内容をまとめる。	60分
5回 鈴木	資料の保存方法 資料へのアクセスし易さの重要性と劣化進行の解説。	復習：前回授業と合わせて化学的な素材に対する授業内容と保存方法についてまとめる。	60分
6回 鈴木	IPMの説明、防虫の必要性 対処ではなく予防の大切さ。	予習：(文化財だけでなく)害虫の印象を発言できるようにしておく。	60分
7回 鈴木	IPM、防虫の必要性 実際にどのような場所でどのようなIPMが行なわれているか、前回も含めディスカッション。	復習：各自の普段利用する施設でIPMがなされているのか注意を向ける。	40分
8回 鈴木	修復と展示の関係 着展示と平置き展示の違い、露出展示とケース展示のメリットデメリットを解説。	予習：アパレルの販売店とミュージアムの衣装展示の違いを考察する。	30分
9回 鈴木	服飾資料の着せ付け 年代ごとの体型の違いと必要な作業の説明。	予習：西洋服飾史における各時代のスタイルを把握しておく。	30分
10回 鈴木	復元の必要性 研究・展示・保存のそれぞれの観点、ディスカッション。	復習：復元の必要性について見解をまとめる。	45分
11回 鈴木	修復体験 提示された作品の修復計画を提案。	復習：授業で提案した計画をまとめる。	60分
12回 鈴木	修復体験 補修材料の地の目通しを体験。	復習：補修材料の地の目通しを完成させる。	60分
13回 鈴木	修復体験 作品の地の目通しを体験。	復習：作品の地の目通しを完成させる。	60分
14回 鈴木	修復体験 修復作業を体験。	復習：プレゼン可能なレベルまで補修する。	60分
15回 鈴木	各自修復計画発表、講評、まとめ	予習：プレゼン準備	60分

インターンシップ

笹部 小百合

服飾文化学科 3年 前期又は後期 選択 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

専門コースの選択により明確になった将来目標を踏まえ、これまでの学修成果を実社会で試し、自身の適性や能力を客観的に把握する機会とする。産学連携協定に基づく企業を含む専門分野関連企業においてインターンシップ(就労体験)を実施し、実務を体験・学修することで実務能力の向上を図る。企業で求められる資質や姿勢を理解し、卒業後の進路意識を高めるとともに、今後の学修への主体的な取り組みにつなげる。実務経験を基にした振り返り指導を行い、社会で活躍できる人材としての意識形成を目指す。

到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就労体験を通して、社会人としての基礎的なマナーやビジネス姿勢を身に付ける。さらに、自身の適性を理解し、将来の進路選択や就職活動に生かすことのできる判断力と実践的能力を養うことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は専門選択科目における卒業要件科目である。将来の就職および職業理解を深め、専門分野における実践的能力と社会適応力の修得を目的とする科目として位置付ける。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

研修日誌の提出内容に対する企業研修先からの講評、グループワークや課題、最終報告書および報告会に対する講評を行う。授業内での口頭指導に加え、メールおよび学内ポータルサイト等を活用してフィードバックを実施する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

社会人常識マナー検定テキスト 2・3級 株式会社エディプレス 清水書院

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示。

研究室：インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み(評価は前期少し遅れて反映)または2・3年生春休み(評価は後期少し遅れて反映)で10日以上~12日以内。研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。成績評価：事前授業や事後報告10%、研修日誌や報告書20%、報告会プレゼン20%、企業での就労態度や実務評価50%

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 1回	オリエンテーション：カリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について、履歴書の書き方(グループワーク)	予習：企業や研修先について研究する 自己紹介を考える	90分
2回 2回	面談：研修先企業や職種についての面談及び自己表現・履歴書作成	予習：履歴書を作成する	60分
3回 3回	事前授業：研修の心得とマナー等について	復習：講義について振り返る	30分
4回 4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
5回 5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
6回 6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
7回 7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
8回 8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
9回 9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
10回 10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
11回 11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
12回 12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
13回 13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
14回 14回	事後授業：企業研修の振り返り(グループワーク) 報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備	復習：報告書作成と報告会に向けての準備	90分
15回 15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション(学修成果と得られた技術を含む)および講評	復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる	30分

長期インターンシップ

笹部 小百合

服飾文化学科 3年 前期又は後期 選択 (4単位 実験実習)

授業の方針・概要

専門コースの選択により明確になった将来目標を踏まえ、これまでの学修成果を実社会で試し、自身の適性や能力を客観的に把握する機会とする。産学連携協定に基づく企業を含む専門分野関連企業においてインターンシップ(就労体験)を実施し、実務を体験・学修することで実務能力の向上を図る。企業で求められる資質や姿勢を理解し、卒業後の進路意識を高めるとともに、今後の学修への主体的な取り組みにつなげる。実務経験を基にした振り返り指導を行い、社会で活躍できる人材としての意識形成を目指す。

到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就労体験を通して、社会人としての基礎的なマナーやビジネス姿勢を身に付ける。さらに、自身の適性を理解し、将来の進路選択や就職活動に生かすことのできる判断力と実践的能力を養うことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は専門選択科目における卒業要件科目である。将来の就職および職業理解を深め、専門分野における実践的能力と社会適応力の修得を目的とする科目として位置付ける。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

研修日誌の提出内容に対する企業研修先からの講評、グループワークや課題、最終報告書および報告会に対する講評を行う。授業内での口頭指導に加え、メールおよび学内ポータルサイト等を活用してフィードバックを実施する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

社会人常識マナー検定テキスト 2・3級 株式会社エディプレス 清水書院

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示。

研究室：インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み(評価は前期少し遅れて反映)または2・3年生春休み(評価は後期少し遅れて反映)で20日以上~24日以内。研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。成績評価：事前授業や事後報告10%、研修日誌や報告書20%、報告会プレゼン20%、企業での就労態度や実務評価50%

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 1回	オリエンテーション：カリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について、履歴書の書き方(グループワーク)	予習：企業や研修先について研究する 自己紹介を考える	90分
2回 2回	面談：研修先企業や職種についての面談及び自己表現・履歴書作成	予習：履歴書を作成する	60分
3回 3回	事前授業：研修の心得とマナー等について	復習：講義について振り返る	30分
4回 4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
5回 5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
6回 6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
7回 7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
8回 8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
9回 9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
10回 10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
11回 11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
12回 12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
13回 13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
14回 14回	事後授業：企業研修の振り返り(グループワーク) 報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備	復習：報告書作成と報告会に向けての準備	90分
15回 15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション(学修成果と得られた技術を含む)および講評	復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる	30分

ショップディスプレイ

石井 健太

服飾文化学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

講師の実際の仕事例を紹介しながら、ショップディスプレイ/デザイン/マーケティングの考え方を学んでゆく。

到達目標 (学修成果)

ショップディスプレイとは企業戦略を視覚化する仕事。ショップの企画立案から実際の設計までを授業内で完成させる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目の単位で卒業要件となります。「ショップディスプレイ」は、空間演出の基礎力とビジネスの基礎知識の向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

毎授業終了時にレポート。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

なし

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 石井	オリエンテーション	特になし	30分
2回 石井	VMDとショップディスプレイ	特になし	30分
3回 石井	ショップの原点の確認 モロッコ 明治日本 より	特になし	30分
4回 石井	ショップの原点の確認 アメリカ 昭和日本 より	特になし	30分
5回 石井	ショップの原点の確認 トルコ より	特になし	30分
6回 石井	世界の百貨店の成り立ちの確認 フランスより	特になし	30分
7回 石井	ショップの企画書作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
8回 石井	ショップの企画書作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
9回 石井	ショップの図面作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
10回 石井	ショップの図面作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
11回 石井	商品ディスプレイプランの作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
12回 石井	イメージパース作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
13回 石井	イメージパース作成	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
14回 石井	発表	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分
15回 石井	発表 総評	これまでの授業内容の確認 なかった分のレポート作成	授業内に完成でき 30分

PRコミュニケーション論

渡邊 教子

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本講義を通じて、社会におけるメディアの果たす重要性を理解し、基本的なメディア・リテラシーやビジネスに必要なメディアコミュニケーションについて習得をする。

「ファッション」＝「衣、食、住、遊、知」に必要とされる今、メディアコミュニケーションの利活用を考察する講義を組み立てる。その為に社会で活躍するファッションビジネスやメディア・アートに関わるプロフェッショナルな専門家を特別講師として招聘し、ビジネスに必要なブランド構築に必要な実践的なノウハウ等を理解せしめる。

到達目標（学修成果）

社会に必要なとされる基本的なメディア・コミュニケーション並びに戦略的なブランド構築の知識を習得する。

さらにファッションビジネス界でメディアやアートを活用した成功例を検証しつつ、メディアデザインの現状とブランディング戦略、それに必要なコミュニケーションスキルを学び、知識を習得することを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目で卒業要件科目となり、ファッション業界で必要とされ活躍できる人材になるよう学修する科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内に提出した課題について解説と講評をします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に指示しますから、購入するなどの準備をする必要はありません。

参考文献

あらゆる関連書籍や新聞から、メディアやコミュニケーション、ブランド戦略、アートに関する知識を習得してください。

オフィスアワー・研究室

出講日：金曜日（前期） 連絡先：教務課（本校舎1階）

備考

専門外も、質問や相談にのりますから、困ったことがあったら連絡ください。

但しすべて解決できるということではありません。お互いに解決策を見つけていきましょう。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 渡邊	オリエンテーション、講師自己紹介、授業計画の説明	予習：シラバスを熟読し、その重要性に関し、認識する	30分
2回 渡邊	高度情報化社会に必要なとされるメディア・リテラシー	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
3回 渡邊	メディアコミュニケーションの社会に果たす役割	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
4回 渡邊	ブランド戦略	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
5回 渡邊	メディア・コミュニケーションにおけるデジタルメディア	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
6回 渡邊	ファッションビジネスにおけるメディアコミュニケーションの重要性について	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
7回 渡邊	進化し続けるコミュニケーションツール	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
8回 渡邊	ファッションディレクターの視点 ファッションメディアにおけるアートとデザインの融合	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
9回 渡邊	メディアコミュニケーションにおける危険性	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
10回 渡邊	TV業界におけるメディアコミュニケーション	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
11回 渡邊	PRと宣伝	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
12回 渡邊	広告代理店におけるメディアコミュニケーションの実践	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
13回 渡邊	ITビジネスとメディアコミュニケーション	復習：配布資料や授業時に使用したレポートの読み返し	30分
14回 渡邊	社会で台頭しつつあるメディアアート&アーティスト	講義中に数度提出した資料を全て読み返す	45分
15回 渡邊	まとめ：これまでの講義のフィード・バックを行う	講義中に数度提出した資料を読み返す	45分

ファッション画 (CG)

福地 宏子

服飾文化学科 3年 後期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

Illustrator/Photoshopを使用したPCによる演習を行います。アイデアを図形や画像を使用して形にできる様に、柔軟な発想力を学びます。テキストを意識した素材制作やハンガーイラストの制作、線画への着彩方法、テーマに合わせたオリジナリティのある課題制作を行います。

到達目標 (学修成果)

Illustrator/Photoshopの基本操作を身に付け、ソフトの特徴を活かした作品を制作できる。自身のファッション表現の可能性を広げる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の専門選択科目の単位となります。ディプロマポリシーでは、服飾関係の専門的職業で活かせるような表現力や、豊かな発想力の向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

提出した課題には評価やコメント記入をして振り返りが行えるように返却する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

授業内で適宜紹介する

オフィスアワー・研究室

【オフィスアワー】第1回目の授業時に指示する

【研究室】ファッション画研究室 研究棟2階 6025

備考

- ・進度により授業計画が変更になる場合もある
- ・学生へのインフォメーションはポータルサイトを利用します

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	【Illustrator/Photoshop】 基本操作、ツールの説明と実践	【復習】操作方法や説明等を振り返る	30分
2回 各自	【Illustrator】ペンツールによるパスの操作 ハンガーイラスト (ジャケット、パンツ等)	【復習】操作方法や説明等を振り返る	30分
3回 各自	【Illustrator】ペンツールによるパスの操作 ハンガーイラスト (ニットウェア等)	【復習】操作方法や説明等を振り返る	30分
4回 各自	【Illustrator】パターン柄の制作 (様々なツールの説明と実践も含む)	【復習】自身の課題を振り返る	30分
5回 各自	【Photoshop】ハンガーイラストへの素材ペースト 画像の加工(フィルター、色調補正等)	【予習】アイテムに合った素材をリサーチ、資料収集	30分
6回 各自	【Photoshop】ハンガーイラストへの素材ペースト	【復習】自身の課題を振り返る	30分
7回 各自	【Illustrator/Photoshop】 個展、展示会を想定したDM制作	【予習】テーマ、イメージに合わせた資料収集	30分
8回 各自	個展、展示会を想定したDM制作	【予習】テーマ、デザインイメージを事前にまとめておく、資料収集	30分
9回 各自	個展、展示会を想定したDM制作	【復習】自身の課題を振り返る	30分
10回 各自	【Illustrator/Photoshop】 テーマに合わせたスタイル画表現	【予習】テーマ、イメージに合わせた資料収集	30分
11回 各自	テーマに合わせたスタイル画表現	【予習】テーマ、デザインイメージを事前にまとめておく、資料収集	30分
12回 各自	テーマに合わせたスタイル画表現	【復習】自身の課題を振り返る	30分
13回 各自	【Illustrator/Photoshop】 テーマに合わせたオリジナルの作品制作	【予習】テーマ、イメージに合わせた資料収集	30分
14回 各自	テーマに合わせたオリジナルの作品制作	【予習】テーマ、デザインイメージを事前にまとめておく、資料収集	30分
15回 各自	テーマに合わせたオリジナルの作品制作	【復習】自身の課題を振り返る	30分

染織史

大久保 尚子

服飾文化学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日本の染織技法の種類と歴史的展開を、意匠との関係、海外との影響関係にも注目して学習します。各時代に特徴的な染織意匠を文化的背景とともに紹介します。映像資料と実物資料を提示し技法、意匠の特色を体験的に学習し、展覧会見学を通し知識に基づく作品理解を深めます。

到達目標(学修成果)

- ・歴史上にみられる染織技法について、技法による表現効果の違い、意匠との関係に注目して理解し、自ら具体的な作品例をとりあげ技法と意匠の特徴について説明できる。
- ・意匠と同時代文化との関係について理解を深め、授業で示した資料を活用し説明することができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。また、学芸員資格取得のための学芸員課程必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業時の課題やレポート提出等に学内システムを活用します。博物館見学時の連絡等にメールを使用する場合があるため担当者のアドレスを授業時にお知らせします。課題等のフィードバックは基本的に授業の中で行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

教科書は用いず、配布資料プリントによって授業を進めます。

参考文献

小笠原小枝『染と織の鑑賞基礎知識』至文堂1998年、河上繁樹、藤井健三『織りと染めの歴史』昭和堂1999年 その他授業の中で示します。

オフィスアワー・研究室

前期：なし 連絡先：本校舎一階教務課 後期 授業のある日(14時～14時30分)第3校舎講師控え室

備考

博物館見学の実施回は、状況により変更する場合があります。詳細は授業時に指示します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 大久保	染織(テキスタイル)の歴史と現代の服飾の関係(ディスカッション)/手仕事と機械工業/「織り」の技法「染め」の技法	予習：シラバスを読む。復習：授業時に示す復習課題に取り組む	30分
2回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 天然素材による糸、織機の仕組み 織物の基本組織	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
3回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織りの技法 綾、羅、錦 /正倉院の染織品にみる唐風の受容	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
4回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 縫い取り織(二陪織物、唐織)、縺子織(緞子、綸子)/有職織物と名物裂	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
5回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 綴れ、縞	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
6回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 織の技法 絁 /近世における外来染織の受容	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
7回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 天然染料の染色/ 染めの技法 描絵、摺絵、絞り染め/ 江戸時代小袖の復元	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
8回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法 蠟防染(臈縵、更紗)、手描き糊防染 友禅染め/更紗のグローバルな影響	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
9回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 博物館見学 染織作品の実地見学	予習：展示資料情報、特に技法について確認。復習：見学レポートに取り組む。	40分
10回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 博物館見学 染織作品の実地見学。質疑応答と見学レポート	予習：展示資料情報、特に技法について確認。復習：見学レポートに取り組む。	40分
11回 大久保	日本の染織技法の種類と歴史 染めの技法 型の使用 板締め、型紙による糊防染(小紋、中形)、型紙による摺込染め	予習：初回配布資料の指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
12回 大久保	伊勢型紙/ジャポニズムと型紙/ 日本の染織技法の種類と歴史 まとめ:日本の染織の歴史展開/技法と意匠の関係	予習：これまでの資料に再度目を通す。復習：課題に取り組む。	30分
13回 大久保	染織技術の近代化/ 伝統染織の継承:文化としての保護、産業	予習：これまでの資料に再度目を通す。復習：課題に取り組む。	30分
14回 大久保	近代の染織と意匠 近世の意匠創案の近代への波及 光琳文	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分
15回 大久保	近代の染織と意匠 染織技術革新と意匠・ジャポニズムとヨーロッパのデザイン運動・日本のデザイン運動 全体まとめ	予習：配布資料指定箇所を読む。復習：課題に取り組む。	30分

ファッションプレゼンテーション演習

児島 やよい

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

授業担当者の約30年に渡る現代美術やデザインをカバーするキュレーター、ライターとしての実務経験を踏まえて、美術館、ギャラリーや多様な展示施設での多ジャンルの展示会の実例を提示、見学、解説します。見学の際には担当学芸員やアーティストなどとも対話する機会を設ける予定です。それに基づきグループワークやディスカッションを行い、創造に活かす視点を学びます。各自で、及びグループワークで展示会企画を構想、プレゼンする演習により、説得力のある企画、プレゼンテーションの方法を身に付けることを目指します。

到達目標(学修成果)

展示会や関連プログラムのリサーチから企画、実施までの過程を知り、展示によっていかに新鮮な主張を発信するかを学ぶ。実務を知り、多様な展示会を見学・考察することで、「展示会を企画」する基本的なプロセスを理解する。キュレーターとしての構想力、研究・分析の成果から新たな視点を活かし具体化する体験を通して、ファッションの分野につながる企画、プレゼンテーションの方法を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目です。また、学芸員資格取得のための学芸員課程の必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

学内システムによりレポート課題及びプレゼン課題についてポイントを解説する。今後の課題、次回見学、授業の内容を掲示する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

特に指定しない

参考文献

授業時に指示する

オフィスアワー・研究室

欠席・遅刻の連絡、授業についての質問等はメール、学内システムにて随時受け付ける。その他必要な場合は教務部まで。

備考

成績について 中間及び期末課題提出・プレゼン 展示会見学レポート(全10本程度) 授業姿勢・参加度の順に重要視します。展示会見学への参加が必須となり、学期を通して入館料と交通費がかかります(全部で6千円程度の予定。入館料の負担は極力少なくします)。止むを得ず見学を欠席する場合は代替の課題を出すので必ず相談して下さい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 児島	オリエンテーション 授業計画 中間、期末課題について 展示会見学について。各自小レポート発表。	予習: これまで鑑賞した展示会について興味のあるテーマについて考えをまとめておく。	30分
2回 児島	「展示会というプレゼンテーション」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
3回 児島	「展示会の企画から実施まで」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
4回 児島	「ファッションの展示会、プレゼンテーションの実例」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
5回 児島	「さまざまな展示の手法、最新の傾向について」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
6回 児島	「企画書を書く」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
7回 児島	中間課題プレゼン(各自で展示会を構想・企画、プレゼン)の準備。	復習: 中間課題プレゼンを仕上げる。	90分
8回 児島	中間課題プレゼンと講評。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
9回 児島	期末課題プレゼン(グループワーク)に向けてディスカッション。	復習: 期末課題プレゼンの準備。	60分
10回 児島	「展示会をめぐる教育・関連イベント、広報などのプログラム」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
11回 児島	「企画の意義、説得力について考える」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く。期末課題プレゼンの中間発表を準備。	60分
12回 児島	期末課題プレゼン(グループワーク)の中間発表。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
13回 児島	「ファッションとプレゼンテーション」。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く。期末課題プレゼンを仕上げる。	90分
14回 児島	期末課題プレゼン(グループワーク)。講評、ディスカッション。展示会見学	復習: 展示会見学レポートを書く	60分
15回 児島	「展示会見学を通して学んだこと、発見、気づきについて」。ディスカッション。学期まとめ。	復習: 各自、学期のまとめ	60分

ドレーピング&パターンメイキング (選)

高橋 彩香

服飾文化学科 3年 前期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

コースに関係なく、ドレーピング&パターンメイキングを学びたい学生を対象に開講する。基礎の復習をしながらドレーピング・パターンメイキングのどちらかの手法でパターン・トワルを作る。パターンメーカーの実務経験・体験談を織り交ぜた講義実習を行う。受講学生の能力に合わせて内容の変更も有る。

到達目標 (学修成果)

基本理論と基本技術の復習によって、より精度の高いパターンを目指せる。立体と平面の双方の関連性を理解し、立体的な服の見た方を学び応用へと発展させる。より自由なデザインをドレーピング、またはパターンメイキングで形にしていくことが可能になる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する選択科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内で課題を点検し、その場で学生に対して個別指導を行う

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

立体裁断 「基本理論」 小山千暁 他著 (有) c f k 1 9 9 1
 立体裁断 「基本理論から応用」 小山千暁 他著 (有) c f k 1 9 9 1

参考文献

『工業用パターンガイドブック』 小山千暁 他著 (株)アミコファッションズ

オフィスアワー・研究室

第2校舎2402教室 金曜日 15:30~17:00

【研究室】ドレーピング&パターンメイキング研究室 (第3校舎1階 3106教室)

備考

授業に必要なテキスト・道具・天竺などの準備は必ず時間前に用意すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 高橋	【実習】工業用ミシンの使い方	予習：天竺80cm×2枚用意	30分
2回 高橋	【実習】有り型からの応用デザイン・パターンメイキング	予習：天竺90cm×2枚用意	30分
3回 高橋	【実習】有り型からの応用デザイン・パターンメイキング	授業進度に合わせて作業進行	30分
4回 高橋	【実習】有り型からの応用デザイン・パターンメイキング	授業進度に合わせて作業進行	30分
5回 高橋	【実習】有り型からの応用デザイン・パターンメイキング	授業進度に合わせて作業進行	30分
6回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング	授業進度に合わせて作業進行	30分
7回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング	授業進度に合わせて作業進行	30分
8回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング	授業進度に合わせて作業進行	30分
9回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング	授業進度に合わせて作業進行	30分
10回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング	授業進度に合わせて作業進行	30分
11回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング	授業進度に合わせて作業進行	30分
12回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング	授業進度に合わせて作業進行	30分
13回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング	授業進度に合わせて作業進行	30分
14回 高橋	【実習】オリジナルデザインのドレーピングまたはパターンメイキング	授業進度に合わせて作業進行	30分
15回 高橋	【まとめ】	授業進度に合わせて作業進行	30分

近代日本モード史

梅谷 知世

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

「今」の日本のファッションは、明治時代以降に本格的に導入された洋服が一般的となる一方で、伝統的な衣服とされる和服は非日常的な装いとして冠婚葬祭やイベントなどで着用されています。本授業では、近代化の過程で洋装がどのように浸透し、和装がどのように変容したかについて、社会・文化的背景との関連から捉え、現代に通じる日本のファッション文化の形成過程を明らかにします。各回の授業では、各種の文献資料や図像資料を取り上げ、それらをどのように読み解き、解釈することができるかを検討します。講義形式で進めますが、授業中に取り上げるテーマについてグループでのディスカッションも行います。

到達目標 (学修成果)

- ・日本のファッションの近代化について、洋装の浸透と和装の変容の両面から理解を深める。
- ・ファッションを通して、その時代の社会や人びとの精神性を読み解く視点をもつことができる。
- ・資料からさまざまな情報を読み取り、服飾のあり方について考察し、論じることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は専門選択科目の卒業認定科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内課題について授業時にフィードバックを行います。授業内容についての質問や相談には随時対応します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

参考文献

授業時に紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

近代日本の文学作品を読んだり、近代日本の絵画や工芸作品に触れたりする機会を持つよう心がけてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 梅谷	イントロダクションー授業の概要・目的などについての説明	シラバスを確認し授業内容を理解する。	30分
2回 梅谷	明治時代の洋装① 幕末・文明開化期の洋風摂取	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
3回 梅谷	明治時代の洋装 近代国家建設と洋服導入	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
4回 梅谷	明治時代の洋装③ フロックコートとハイカラ	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
5回 梅谷	明治時代の洋装④ 鹿鳴館時代の女性の洋装と束髪	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
6回 梅谷	和装の近代化① 洋装品をとり入れた和装	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
7回 梅谷	和装の近代化② 女学生の袴姿	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
8回 梅谷	和装の近代化③ 着物文様にみる伝統と革新	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
9回 梅谷	和装の近代化 百貨店による流行の創出	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
10回 梅谷	大正時代の洋装 女性の洋装の広がり	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
11回 梅谷	モダン都市文化とモダンガールの装い	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
12回 梅谷	戦時中の衣生活と戦後の洋裁文化	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
13回 梅谷	戦後の着物の変遷	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
14回 梅谷	1960年代以降の社会とファッション	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	60分
15回 梅谷	まとめ	これまでの授業内容の振り返りを行い、理解を深める。	120分

リテールビジネスにおけるVMDマネジメント

寺井 孝夫

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

- ・VMDをリテールビジネスにおける必須の一領域と捉え、基礎知識から実践まで体系的に学びます。百貨店で実務経験のある担当講師の経験談や実践事例に触れながら、より現場に即した知識を習得していただきます。
- ・一般的なVMDの基本はもちろん、人の習性、心理などの周辺の知識についても学んだ上で、店舗で実際に機能しているVMDについて分析できるスキルを養います。
- ・本科目ではグループワークを含むアクティブラーニングを実施します。

到達目標 (学修成果)

- ・VMDの意味と目的などの基礎知識、初歩的なレベルの実践力&マネジメント力の習得。
- ・店舗の視察&観察を通して、その意図や役割、機能を分析できる知見の習得。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目で、あらゆるファッションビジネスで活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

仮想店舗でのVMD計画を自身で策定し、演習成果物として提出いただきます。課題用紙はmanabaに掲載予定。希望者には返却。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

指定教科書なし。適宜参考資料を配布。

参考文献

必要に応じて適時ご案内します。

オフィスアワー・研究室

出校日：水曜日 FB研究室：第4校舎 4階3402教室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 寺井	オリエンテーション 自己紹介、半期を通して知ってほしいこと、参考動画視聴	予習：シラバス確認 復習：この講義で学びたいこと整理	30分
2回 寺井	基本編 VMDの歴史、現状、今後 参考動画視聴	予習：「VMD」をweb検索 復習：実際の店舗でVMDの確認	30分
3回 寺井	基本編 基礎知識 / VP、PP、IP 3つの場と役割	予習：「VP、PP、IP」をweb検索 復習：実際の店舗で3つの場を確認	30分
4回 寺井	基本編 ヒトとVMD / 基本モジュールとヒトの習性	予習：演習で用いるメジャーの準備 復習：実際の店舗で寸法の確認	30分
5回 寺井	基本編 客数UPの重要性とそのテクニック	予習：「客数」をweb検索 復習：実際の店舗でのテクニック事例の確認	30分
6回 寺井	基本編 品物に触ってもらえるテクニック	予習：「展開分類」をweb検索 復習：実際の店舗で「展開分類」を確認	30分
7回 寺井	基本編 売場空間の構成要素 / 什器の種類とデザイン面白さ	予習：「什器」をweb検索 復習：実際の店舗で様々な什器を確認	30分
8回 寺井	基本編 売場空間の構成要素 / マネキン、トルソ、モチーフ	予習：「マネキン」をweb検索 復習：実際の店舗で「トルソ」使用例を確認	30分
9回 寺井	実践編 パワーラックを作る / トルソとラックでショーイングの実践	予習：「パワーラック」をweb検索 復習：実際の店舗でパワーラックを確認	30分
10回 寺井	実践編 既存店舗のVMD分析「目黒アトレ」	予習：ABCマートとZARAを視察 復習：実際の店舗で単品集積売場を確認	60分
11回 寺井	実践編 既存店舗のVMD分析「恵比寿アトレ」	予習：テーブルプレゼンテーションをweb検索 復習：実際の店舗でテーブルの使い方を確認	30分
12回 寺井	グループディスカッション 自分の理想のVMDの「魅力」とその「理由」	予習：事前課題 / VMD事例のレポート 復習：ディスカッション内容振り返り	100分
13回 寺井	実践編 演習その1 販売計画との連動 = 変化	予習：「販売計画」をweb検索 復習：イメージビジュアルリサーチ	60分
14回 寺井	実践編 演習その2 コンセプト策定から具体案の立案	予習：事前課題 / イメージビジュアル切り抜き 復習：成果物振り返り	100分
15回 寺井	まとめ 日本のVMD現状と実際の仕事	予習：VMDの仕事への関心喚起 復習：実務への具体的想像	30分

現代流通論

五月女 由紀子

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

欧米や日本の流通の発展過程は店舗の拡大が重要であった。昨今では、無店舗販売であるEC比率を高める方向に転換をする企業が増え新たな段階に入っている。ECと店舗は融合され、新しいビジネスモデルがここ数年で次々と登場してきている。次世代型流通システムは個人顧客データを取り込みながら、パーソナルな提案が重要になってきている。そのためには、サプライチェーン、在庫、物流、販売までを総合的に考えていく必要がある。担当教員は10数年アパレル企業に勤務した実務経験があり、流通の革新的変化を現場の立場で捉える授業とする。

到達目標(学修成果)

現代流通とイノベーションの相関関係を理解し、修得する。ディプロマポリシーで示した変革の進むファッション流通に即応できる感性・思考力と課題解決力などの能力とファッション流通イノベーションを推進する人材の育成を目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。流通イノベーションコースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業後に複数回の課題を提出する。教員からのフィードバックや助言などをしていき、最終的には各学生が考えるファッション業界における流通の未来についてのプレゼンテーションを行い、評価を確認する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

配布資料があります。

参考文献

崔相鐵・岸本徹也 編集「1からの流通システム」、硯学舎
 牧田幸裕「デジタルマーケティングの教科書 データ資本主義時代の流通小売戦略」東洋経済新報社

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーについては授業初日に伝えます。ファッションビジネス・流通イノベーション実習室(第3校舎3207教室)
 ファッションビジネス・流通イノベーション研究室(第3校舎3300室)

備考

日程及び内容は授業の進行具合に合わせて変更する事もあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 五月女	イントロダクション：昨今の流通における変化と講義に臨むスタンスを説明する	予習：シラバスを読み、自身の関心を整理しておく	30分
2回 五月女	ファッションビジネスにおける流通革新の変遷 - 小売り業の近代化と百貨店の繁栄 -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
3回 五月女	ファッションビジネスにおける流通革新の変遷 - SPAブランドとショッピングセンターの成立過程 -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
4回 五月女	ファッションビジネスにおける流通革新の変遷 - 無店舗販売とECビジネスの発展 (ECモールの登場) -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
5回 五月女	ファッションビジネスにおける流通革新の変遷 - セレクトショップの発展と未来 -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
6回 五月女	サプライチェーンマネジメントDXと物流 - ロジスティクスの最適化 -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
7回 五月女	オムニチャネルの最新動向 - シームレスな購買体験、OMO戦略 -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
8回 五月女	D2C (Direct to Consumer) ビジネスの事例 - FABRIC TOKYO、YUTORI など -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
9回 五月女	アパレルECモールと実店舗の融合 - オンワードクロゼット、アダストリア and ST -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
10回 五月女	無店舗販売：ライブコマース - インフルエンサーマーケティングを活用した販売 -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
11回 五月女	サーキュラ エコノミー (循環型経済) 二次流通の事例 - メルカリのビジネス -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
12回 五月女	シェアリングエコノミー、サブスクリプションモデル - エアークロゼット、ラクサス、アナザーアデルスなど -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
13回 五月女	リテールメディア - 顧客購買データ、行動データの活用による広告 -	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
14回 五月女	渋谷再開発 - 新しいリテールと街づくり	予習：最終課題レポートを作成する	60分
15回 五月女	まとめ	復習：課題レポートのフィードバックへの振り返り	30分

食物学 (食品学)

外川 恵

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本授業では、日常的に利用されている食品について、栄養素の供給源としての性質、嗜好(おいしさ)に関わる特徴、健康の保持・増進に関わる機能的側面を総合的に理解することを目的とする。あわせて、食品の加工・調理による栄養成分や性状の変化、安全性、食品表示・栄養成分表示、栄養や保健機能に関する食品表示等に関する基礎知識についても学ぶ。加えて、食料自給率や環境への配慮といった食に関わる社会的課題との関連を理解し、食品選択に必要な情報を適切に読み解く力を養う。

到達目標(学修成果)

1. 食品の栄養素等の特徴、加工・調理による性状の変化を理解し、説明することができる。
2. 食品の安全性や食品表示・栄養成分表示、栄養や保健機能に関する食品表示等を活用し、適切な食品選択ができる。
3. 食と社会的課題との関わりを理解し、食生活で実践できる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位(ライフスタイル関係)であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

各講義のはじめに前回ワークシートの回答や解説を通して内容の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

「新食品成分表FOODS」編者 新食品成分表編集委員会 東京法令出版株式会社

* 最新版を用意すること

参考文献

随時紹介する。

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業にて連絡する。調理研究室：第3校舎

備考

実践栄養学を履修していることが望ましい。

課題やワークシートの作成にChatGPTなどの生成系AIやWikipedia等の文章等を(ほとんど)そのまま用いることは認めない。各回の教員の指示を受けて作成すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 外川	食と社会環境：日本の食生活の変化，日本の食料事情，日本食品標準成分表	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
2回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 穀類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
3回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 いも及びでん粉類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
4回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 野菜類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
5回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 野菜類，果実類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
6回 外川	食品の分類と特徴：植物性食品 豆類，種実類，きのこ類，藻類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
7回 外川	食品の分類と特徴：動物性食品 魚介類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
8回 外川	食品の分類と特徴：動物性食品 肉類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
9回 外川	食品の分類と特徴：動物性食品 卵類，乳類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
10回 外川	食品の分類と特徴：嗜好飲料，調味料，油脂類	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
11回 外川	食品の安全と選択：食品表示・栄養成分表示	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
12回 外川	食品の安全と選択：食品表示・栄養成分表示，栄養や保健機能に関する食品表示	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
13回 外川	食品の安全と選択：食中毒，安全性を確保する制度	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
14回 外川	おいしさを形成する要因，調理の意義，環境への配慮	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
15回 外川	授業内試験とまとめ	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：試験内容を振り返る	45分

住居学

萬羽 郁子

服飾文化学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

住居学に関する基礎的知識の習得を目指し、まず、住居の役割や機能に説明する。次に、住居の歴史の変遷について概説し、間取り・生活の変化や室内環境について学習する。後半には、住まいの安全や住まいの計画（製図を含む）について学習し、健康・快適・安全な住まいについてまとめる。

到達目標（学修成果）

人間生活の器である住居の役割を理解し、住生活に関して居住者として必要な基礎的知識を身につける。住居の役割と機能、住居の歴史の変遷と生活の変化、室内の環境整備の必要性や維持管理方法について理解する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件については、専門選択科目の単位であり、教員免許状取得のための教職課程必修科目である。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については、「住居学」は専門コースに拘らず選択することができ、専門力向上に資する科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

質問等はメールで対応します。振り取りテストは解説等をフィードバックします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に指示する。

参考文献

授業中に紹介します。

オフィスアワー・研究室

前期：なし 後期：土曜日 第3校舎講師控室（第3校舎1階）

備考

2コマ連続（7・8限と9・10限）や一部をオンデマンド形式で行う場合があります。詳細は初回授業で説明します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 萬羽	オリエンテーション：住居とは、授業計画 住居の役割と機能（グループワーク）	予習：シラバスを読む。中・高家庭科教科書の関連内容を確認する。	30分
2回 萬羽	気候風土と住まい（プレゼンテーション）	予習：日本・世界の住まいについて調べる。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
3回 萬羽	住宅・住生活の変遷：古代～中世	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
4回 萬羽	住宅・住生活の変遷：近世の住宅（グループワーク）	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
5回 萬羽	住宅・住生活の変遷：近代～現代	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
6回 萬羽	環境と住生活：温熱環境	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
7回 萬羽	環境と住生活：空気・音・光環境	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
8回 萬羽	住まいの安全：高齢者を取り巻く環境・バリアフリー	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：自宅バリアフリー調査をする。	90分
9回 萬羽	住まいの安全：家庭内事故の予防・ユニバーサルデザイン	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
10回 萬羽	住まいの安全：防災	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
11回 萬羽	住まいの選択と管理	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：住宅の選択に関する課題に取り組む。	90分
12回 萬羽	住まいの計画：平面図	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：製図課題の続きを行う。	90分
13回 萬羽	住まいの計画：家具配置	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：家具配置課題の続きを行う。	90分
14回 萬羽	住まいの計画（プレゼンテーション）	予習：家庭科教科書の関連内容を確認する。 復習：授業内容をノートにまとめる。	90分
15回 萬羽	まとめと振り返り（小テスト・レポート）	予習：これまでの学習内容を確認する。 復習：振り返りレポートを作成する。	90分

保育学

川崎 理香

服飾文化学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

保育学においては、子どもの発達や子どもの他者への関わりについて、担当教員の幼稚園教諭・保育士の実務経験から具体例を聞き、幼児理解の姿勢を学ぶ。また知識だけでなく、自らが活動を体験することにより保育技術の向上を目指し、グループワークやプレゼンテーションによる学び合いによって保育者の役割や子どもへの理解を一層広げたり深めたりする。

到達目標（学修成果）

- ・乳幼児期の発達を理解できるようになる。
- ・乳幼児期の子どもたちが、出会う身近な存在である人的環境や物的環境との関わりを知ることができる。
- ・教材研究を通して子ども理解を深めることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件については、専門選択科目の単位となる。ディプロマポリシー（学位授与の方針）については、「保育学」は専門コースに拘らず選択することが出来、社会基礎力の向上に資する科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業のはじめに前回の授業の振り返りを行う。授業の終わりに振り返りシートを記入し、授業内容の理解の深まりを確認する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

毎回レジュメを配布する。

参考文献

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育、保育保育要領の各解説書

オフィスアワー・研究室

前期： なし 連絡先： 本校舎1階教務課
後期： 土曜日（9時00分～10時40分） 本校舎1階教務課

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 川崎	オリエンテーション 保育とは何か	予習：シラバスを読む。保育とは何かについて自分なりに考えをまとめる	30分
2回 川崎	乳児の発達の姿と保育	予習：子どもが誕生してから乳児期の発達について調べる	30分
3回 川崎	3～5歳児の成長・発達と保育	予習：幼児期の成長・発達について調べる	30分
4回 川崎	保育者の役割	予習：保育者についてのイメージや役割について考えをまとめる	30分
5回 川崎	5領域の目標とねらい・内容 幼児教育施設の違いについて	予習：子どもの育ちの側面からとらえた5領域について調べる	30分
6回 川崎	遊びを通しての総合的な指導	予習：子どもにとって遊びとはどのような意味を持つのか考えをまとめる	30分
7回 川崎	環境を通して行う保育・教育	予習：社会の状況に応じて変化してきた子どもを取り巻く環境について考える	30分
8回 川崎	一人一人の発達に応じた指導	予習：「個」と「集団」の関係をどのように捉えたらよいのか考える	30分
9回 川崎	同じ遊びの目的や課題を持つ友達が協力して展開する活動	予習：課題について教材研究しておく	30分
10回 川崎	同じ遊びの目的や課題を持つ友達が協力して展開する活動	予習：課題について教材研究しておく	30分
11回 川崎	教材研究 「模擬保育」の展開を考える...グループ協議	予習：模擬保育に応じた教材準備、役割分担、練習をする	30分
12回 川崎	教材研究 「模擬保育」の展開を考える...グループ協議	予習：模擬保育に応じた教材準備、役割分担、練習をする	30分
13回 川崎	教材研究 「模擬保育」...グループ発表・評価・反省	予習：模擬保育の発表が出来るように練習しておく	30分
14回 川崎	事例研究 保育者の援助を考える まとめ	予習：保育者の具体的な役割を事例について分析・考察しておく	30分
15回 川崎	授業内試験	予習：14回目までの授業の内容の確認	30分

食文化論

外川 恵

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本授業では、食および食に関する生活様式を、歴史的・文化的・社会的視点からとらえ、多角的に学ぶ。日本の食と食文化の成り立ち、特徴を理解した上で、他国や異なる文化にみられる食文化や食習慣について学び、食文化の多様性への理解を深める。また、人や社会にとっての食の役割を理解した上で、主体的に食文化を次世代へ継承していく力を養う。

到達目標 (学修成果)

1. 日本の食文化の成り立ち、特徴を理解し、食文化を継承する役割を担うことができる。
2. 他国、他宗教等の食文化の特徴、多様な価値観を受け入れ、尊重することができる。
3. 人や社会にとっての食と食文化の関わりを理解し、食生活で実践できる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位 (ライフスタイル関係) であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

各講義のはじめに前回ワークシートの回答や解説を通して内容の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

適宜資料を配布する。

参考文献

日本の食文化 「和食」の継承と食育 (新版) 編著者 江原絢子・石川尚子 アイ・ケイ・コーポレーション

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。調理研究室：第3校舎 3002

備考

課題やワークシートの作成にChatGPTなどの生成系AIやWikipedia等の文章等を (ほとんど) そのまま用いることは認めない。各回の教員の指示を受けて作成すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 外川	食生活と文化：個人にとっての食と食文化 共食	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
2回 外川	食生活と文化：社会にとっての食と食文化 食育	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
3回 外川	日本の食と食文化：和食，郷土料理	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
4回 外川	日本の食と食文化：行事食，儀礼食	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
5回 外川	日本の食と食文化：日本の食の成り立ち	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
6回 外川	日本の食と食文化：日本料理の料理形式	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
7回 外川	日本の食と食文化：食器，菓子	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
8回 外川	日本と他国，多文化の違い：食事様式，食具	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
9回 外川	世界の食と食文化：フランス	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
10回 外川	世界の食と食文化：フランス	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
11回 外川	世界の食と食文化：中国	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
12回 外川	世界の食と食文化：韓国，世界各国の食，食育	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
13回 外川	食の禁忌と忌避：宗教と食文化	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
14回 外川	食の禁忌と忌避：多様な価値観と食文化	事前学習：テーマについての考えをまとめる。 事後学習：授業で得た知識を整理する	30分
15回 外川	授業内試験およびまとめ	事前学習：これまでの学習を確認する 事後学習：試験内容を振り返る	45分

食物学 (調理実習・実験)

外川 恵

服飾文化学科 3年 前期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

調理の基本操作を科学的にとらえ、食品の特徴を活かす方法を学び、調理技術を習得する。理論や技術を日常食に応用させ、自身の食生活に活かす。さらに、日常食の調理方法やその要点を他者へ伝える力を養う。なお、本実習は食品、教材を購入するために実習費を別途徴収する。

到達目標 (学修成果)

1. 食品の調理性および調理手法の特徴を科学的に理解し、調理の基本操作、包丁操作ができる。
2. 健康面、嗜好等に配慮して日常食を調理し、その内容を他者へ伝達することができる。
3. 教員免許取得者においては、安全で科学的な調理実習が運営できる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位 (ライフスタイル関係) であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

各実習のはじめに前回ワークシートの解説を通して内容の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

「調理学実習-基礎から応用」第9版 編著者 高橋敦子/安原安代/松田康子 女子栄養大学出版社

参考文献

「NEW 調理と理論 第二版」著者 山崎清子/島田キミエ/渋谷祥子ほか 同文書院

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

備考

食物アレルギーがある場合は事前に教員に相談すること。エプロン、三角巾、マスク、手拭き、内履きを持参すること。実践栄養学を履修していることが望ましい。実習台の都合上、履修者数の制限を行う場合がある。その場合は、教職履修者を優先的に受け入れることとする。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 外川	オリエンテーション, 食品の計量, 調味料の容量と重量, 日本茶の淹れ方	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	45分
2回 外川	だしの取り方, 米の調理 (炊く), 切り方の基礎	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
3回 外川	調理学実験と日常食: 卵類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
4回 外川	調理学実験と日常食: 野菜 その他の野菜類 (淡色野菜)	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
5回 外川	調理学実験と日常食: 野菜 緑黄色野菜類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
6回 外川	調理学実験と日常食: いも類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
7回 外川	調理学実験と日常食: 豆類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
8回 外川	調理学実験と日常食: ゲル化剤	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
9回 外川	調理学実験と日常食: 乳類・小麦粉類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
10回 外川	調理学実験と日常食: 小麦粉類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
11回 外川	調理学実験と日常食: 魚類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
12回 外川	調理学実験と日常食: 肉類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
13回 外川	調理学実験と日常食: ひき肉	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
14回 外川	調理学実験と日常食: 魚類, 肉類	事前学習: 教科書の該当箇所を確認する 事後学習: 実習の料理を家庭で再現する	60分
15回 外川	筆記・実技試験	事前学習: これまでの授業内容を確認する 事後学習: 試験内容を復習する	60分

食物学 (調理実習・実験)

外川 恵

服飾文化学科 3年 後期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

調理の基本操作を科学的にとらえ、調理技術を習得し、対象者や目的に合わせた日常食・行事食の調理に応用させる。日常食の調理方法やその要点を他者へ伝える力および他の料理へ応用させる力を養う。なお、本実習は食品、教材を購入するために実習費を別途徴収する。

到達目標 (学修成果)

1. 調理の特徴を理解し、その調理操作および包丁操作ができる。
2. 目的に応じた日常食および行事食の調理をすることができる。
3. 対象者に合わせて、日常食の調理方法や要点、応用した料理を伝達することができる。
4. 教員免許取得者においては、安全で科学的かつ日常生活に応用可能な調理実習が運営できる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位 (ライフスタイル関係) であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

各実習のはじめに前回ワークシートの解説を通して内容の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

「調理学実習-基礎から応用」第9版 編著者 高橋敦子/安原安代/松田康子 女子栄養大学出版社

参考文献

「NEW 調理と理論 第二版」著者 山崎清子/島田キミエ/渋谷祥子ほか 同文書院

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回の授業で連絡する。調理研究室：第3校舎 3002調理実習室内

備考

食物アレルギー等がある場合は事前に教員に相談すること。エプロン、三角巾、マスク、手拭き、内履きを持参すること。実践栄養学、食品学、食物学 (調理学実習・実験) を履修していることが望ましい。実習台の都合上、履修者数の制限を行う場合がある。その場合は、教職履修者を優先的に受け入れることとする。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 外川	オリエンテーション：調味料と調味パーセント 応用調理：和食献立	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	45分
2回 外川	調理法からのアプローチ：汁、減塩の工夫	事前学習：自身の朝食をふりかえる 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
3回 外川	調理法からのアプローチ：煮る	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
4回 外川	調理法からのアプローチ：炒める	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
5回 外川	調理法からのアプローチ：焼く	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
6回 外川	調理法からのアプローチ：揚げる	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
7回 外川	調理法からのアプローチ：魚をおろす	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
8回 外川	調理法からのアプローチ：蒸す	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
9回 外川	応用調理：和風献立	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
10回 外川	応用調理：弁当	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
11回 外川	応用調理：行事食 (クリスマス料理)	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
12回 外川	応用調理：行事食 (正月料理)	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
13回 外川	応用調理：洋風料理	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
14回 外川	応用調理：中国料理	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：実習の料理を家庭で再現する	60分
15回 外川	筆記・実技試験	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：試験内容を復習する	60分

日本語表現	伊藤 高広	服飾文化学科	3年	前期	選択 (2単位 講義)
--------------	-------	--------	----	----	---------------

授業の方針・概要

本学留学生が、大学生レベルの文章力をつけるための授業です。
短文からはじめて、短い文章を書けるまでの練習をする
翻訳ソフトを活用しながらでも、ある程度のまとまった分量の文章を書く

到達目標（学修成果）

正確な日本語で短文を書けるようになる
論文を書くための基礎を身につける

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

外国人留学生の卒業要件科目で、教養必修科目です
社会・文化の相互理解に資する科目です

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回ごとに課題を添削します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

改訂版 大学・大学院留学生の日本語 作文編 (アルク)

参考文献

必要に応じて指示する

オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する
文章表現研究室（研究棟1階）

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 伊藤	授業の方針・概要	予習 シラバスを読んでおく	30分
2回 伊藤	作文の基本 表記 短文をつくる	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
3回 伊藤	作文の基本 書きことば 短文をつくる	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
4回 伊藤	作文の基本 表記・書きことばの練習（確認） 短文をつくる	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
5回 伊藤	作文の基本 段落 短い作文	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
6回 伊藤	作文の基本 段落（確認） 短い作文	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
7回 伊藤	作文の基本 主語になることば 短い作文	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
8回 伊藤	作文の基本 文の構成 短い作文	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
9回 伊藤	作文の基本 文の構成（確認） 短い作文	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
10回 伊藤	小まとめ 確認と作文	復習 自分の苦手なところを確認する	60分
11回 伊藤	レポートに必要な表現	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
12回 伊藤	レポートに必要な表現	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
13回 伊藤	レポートに必要な表現	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
14回 伊藤	レポートに必要な表現	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
15回 伊藤	前期のまとめ 段落構成のある作文	復習 自分の苦手なところを確認する	60分

日本語表現

伊藤 高広

服飾文化学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日本語表現 に引き続き、本学留学生が、大学生レベルの文章力をつけるための授業です。
 前期で学習した表現の練習をくりかえし行います
 後期は日本の生活文化の講義も兼ねます 講義内容を文章にまとめたりします
 翻訳ソフトを活用しながらでもよいので、ある程度のまとまった分量の文章を書きます

到達目標(学修成果)

正確な日本語でレポートを書けるようになる
 論文を書くための基礎を身につける

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

外国人留学生の卒業要件科目で、教養必修科目です
 社会・文化の相互理解に資する科目です

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎回ごとに課題を添削します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

前期と同じ

参考文献

必要に応じて指示する

オフィスアワー・研究室

最初の授業時に指示する
 文章表現研究室(研究棟1階)

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 伊藤	後期授業の概要	予習 シラバスを読んでおく	30分
2回 伊藤	説明文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
3回 伊藤	説明文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
4回 伊藤	意見文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
5回 伊藤	意見文を書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
6回 伊藤	比較しながら書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
7回 伊藤	比較しながら書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
8回 伊藤	資料の使い方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
9回 伊藤	資料の使い方を練習する	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
10回 伊藤	引用しながら書く	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
11回 伊藤	引用しながら書く	復習 自分の苦手なところを確認する	60分
12回 伊藤	総合的な作文の練習	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
13回 伊藤	総合的な作文の練習	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
14回 伊藤	総合的な作文の練習	復習 語彙を増やすための勉強をする	60分
15回 伊藤	まとめ	復習 自分の苦手なところを確認する	60分

日本語

宮下 利江、錢 陶緯

服飾文化学科 3年 前期 選択必修 (4単位 講義)

授業の方針・概要

大学で学ぶために必要な日本語力を習得する。話す活動を中心とした授業を行うので、積極的に予習と復習をすることを求める。日本語Iに関しては、初級文法の復習定着及びその運用能力の向上を目指す。また、読解と対話のタスクを通じて、日本語力を高めると同時にテーマについての理解力と思考力を養成する。

到達目標 (学修成果)

初級文法・語彙表現を復習し定着を図りながら講義や発表を理解する力を高める。習得した文法事項を使い、自分の意見をまとめ、発表やディスカッションができるようになる。また、服飾に関連する専門用語についても、授業で理解し使えるよう確認の機会を適宜入れる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の中の外国語選択必須科目で、また、グローバル人材としての日本語による円滑なコミュニケーション能力を養い、異文化理解力、豊かな感性、表現力を涵養することを目指している。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

通常の授業内で返却・解説します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

『JLPT文法N3ポイント&プラクティス』著者：斎藤明子・田川麻央・森田亮子 等 出版社：スリーエーネットワーク

『話す・書くにつながる！日本語読解(中級)』著者：小野恵久子、遠藤千鶴、大久保伸枝、山中みどり 出版社：アルク

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

第1回の授業で説明します。

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	ガイダンス 【語彙・文法知識】スポーツクラブに入会する。専門用語	【予習】シラバスを読む。	30分
2回 各自	【語彙・文法知識】友達をお花見に誘う。専門用語 【読解・対話】1課「10代のうちに考えておくこと」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
3回 各自	【語彙・文法知識】友達とお花見を計画する。専門用語 【対話】1課「10代のうちに考えておくこと」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】対話教科書の書く部分の所定課題	60分
4回 各自	【語彙・文法知識】電車が遅れる。専門用語 【読解・対話】2課「草は生きているか」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
5回 各自	【語彙・文法知識】これは雑誌の占いだ 専門用語 【読解・対話】2課「草は生きているか」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
6回 各自	【語彙・文法知識】留学した理由を話す。専門用語 【読解・対話】3課「仕事選び」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
7回 各自	【語彙・文法知識】インターネットでの買い物。専門用語 【読解・対話】3課「仕事選び」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
8回 各自	【語彙・文法知識】カメラを修理に出します。専門用語 【読解・対話】4課「障がいと私」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
9回 各自	【語彙・文法知識】カジュアルな表現と敬語。専門用語 【読解・対話】4課「障がいと私」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
10回 各自	【語彙・文法知識】友達に授業のお願いをする。専門用語 【読解・対話】5課「フィンランドの学校で」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
11回 各自	【語彙・文法知識】友達を相撲に誘う。専門用語 【読解・対話】5課「フィンランドの学校で」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
12回 各自	【語彙・文法知識】レトルトカレーを温める。専門用語 【読解・対話】6課「マニュアル社会」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
13回 各自	【語彙・文法知識】職場で休みの希望を言う。専門用語 【読解・対話】6課「マニュアル社会」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
14回 各自	【語彙・文法知識】台風の準備をする。専門用語 【期末試験の説明・復習】	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
15回 各自	期末試験	【予習】期末試験の準備	90分

日本語

宮下 利江、錢 陶緯

服飾文化学科 3年 後期 選択必修 (4単位 講義)

授業の方針・概要

日本語Iに引き続き、大学で学ぶために必要な日本語力を習得する。話す活動を中心とした授業を行うので、積極的に予習と復習をすることを求める。日本語IIに関しては、専門用語の確認は継続し、その他中級文法の定着及びその運用能力の向上を目指す。また、対話、発表などのタスクを通じて、日本語力を高めると同時にテーマについての思考力と表現力を養成する。

到達目標 (学修成果)

講義や発表を理解する力をさらに高める。習得した文法事項を使いこなし、表現力とともにレポートや論文を書くため、およびプレゼンテーションに必要な基礎的な日本語力を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目の中の外国語選択必須科目で、また、グローバル人材としての日本語による円滑なコミュニケーション能力を養い、異文化理解力、豊かな感性、表現力を涵養することを目指している。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

通常の授業内で返却・解説します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

『JLPT文法N3ポイント&プラクティス』 著者：斎藤明子・田川麻央・森田亮子 等 出版社：スリーイーネットワーク

『話す・書くにつながる！日本語読解(中級)』 著者：小野恵久子、遠藤千鶴、大久保伸枝、山中みどり 出版社：アルク

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

第1回の授業で説明します。

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	ガイダンス 【語彙・文法知識】これは化粧品の宣伝だ。専門用語	【予習】シラバスを読む。	30分
2回 各自	【語彙・文法知識】電気屋でパソコンを買う。専門用語 【読解・対話】7課「遺伝子検査」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
3回 各自	【語彙・文法知識】お勤めの観光地を聞く。専門用語 【読解・対話】7課「遺伝子検査」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
4回 各自	【語彙・文法知識】接続詞と副詞。専門用語 【読解・対話】8課「コミュニケーションの日本語」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
5回 各自	【語彙・文法知識】法律相談所に電話をかける。専門用語 【読解・対話】8課「コミュニケーションの日本語」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
6回 各自	【語彙・文法知識】これは映画の広告だ。専門用語 【読解・対話】9課「丸裸の山で」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
7回 各自	【語彙・文法知識】言葉の意味を調べる。専門用語。 【読解・対話】9課「丸裸の山で」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
8回 各自	【語彙・文法知識】先生に年賀状を送る。専門用語 【読解・対話】10課「何かを選択すればゴールに近づく」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
9回 各自	【語彙・文法知識】車の事故があったそうだ。専門用語 【読解・対話】10課「何かを選択すればゴールに近づく」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
10回 各自	【語彙・文法知識】新聞社に私の意見を送る。専門用語 【読解・対話】12課「見通す力」	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】読解・対話教科書の所定課題	60分
11回 各自	【語彙・文法知識】スピーチをする。専門用語 【読解・対話】12課「見通す力」	【予習】文法教科書の練習問題・調べもの 【復習】発表準備	60分
12回 各自	【語彙・文法知識】部屋を借りる。専門用語 【対話】プロジェクト	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】発表準備	60分
13回 各自	【語彙・文法知識】健康診断を受ける。専門用語 【対話】プロジェクト	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】発表準備	60分
14回 各自	【期末試験の説明・復習】 【対話】プロジェクト	【予習】文法教科書の練習問題 【復習】期末試験の準備	60分
15回 各自	期末試験	【予習】期末試験の準備	90分

ホスピタリティ・ビジネスマナー実践

赤木 久美子

服飾文化学科 3年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本科目は、社会人に求められるビジネスマナー（挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉遣い）を、相手への配慮を重視したホスピタリティの視点から身に着ける科目です。1年次科目「社会人基礎」で学んだ自己理解、コミュニケーション内容を基盤に、就職活動に直結する実践力を向上させることを目的とします。

到達目標（学修成果）

ビジネスマナーを形式的に学ぶだけでなく、ホスピタリティを理解し、社会人として信頼される印象形成力を高め、自己PRや面接に必要な自己表現力の向上を目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は専門選択科目の卒業要件科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎授業内で、前回の質問・感想のフィードバックをし、最終回に総合課題の解説を行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

授業の進行に合わせてプリントを配布します。

オフィスアワー・研究室

連絡研究室：教務課(本校舎1階) 出講日：水曜日

備考

授業内容は、進度により、日程及び内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 赤木	オリエンテーション・授業概要説明 本科目の意義、「社会人基礎」とのつながり	予習：シラバスを確認し、授業の概要を把握する	30分
2回 赤木	ホスピタリティとは何か（基礎理論） 概念理解・行動例・サービスとの違い	復習：ホスピタリティの概念を確認する	30分
3回 赤木	ホスピタリティ行動の実践 グループワーク	復習：相手視点の行動を確認し、実践する	30分
4回 赤木	ビジネスマナー5要素 挨拶 ロールプレイ	復習：ホスピタリティとしての挨拶を理解し、実践する	30分
5回 赤木	ビジネスマナー5要素 表情 グループワーク	復習：印象形成と非言語コミュニケーションを理解し実践する	30分
6回 赤木	ビジネスマナー5要素 身だしなみ グループワーク	復習：就職活動における身だしなみの意味を理解する	30分
7回 赤木	ビジネスマナー5要素 姿勢・態度 ロールプレイ	復習：態度が信頼感に直結することを理解する	30分
8回 赤木	ビジネスマナー5要素 言葉遣い・話し方 ロールプレイ	復習：敬語の習得と伝わる話し方を理解し、実践する	30分
9回 赤木	自己理解（強み・価値観の整理） ペアワーク	復習：自分の強みを言語化する	30分
10回 赤木	自己PRの基本構造（PREP法）	復習：自己PRを完成させる	60分
11回 赤木	自己PR実践演習 グループワーク	復習：自己PRの改善ポイントを理解する	30分
12回 赤木	面接マナー グループワーク	復習：面接場面での基本動作と応答について確認する	30分
13回 赤木	模擬面接 ロールプレイ	復習：面接場面での基本動作と応答の改善点を確認する	30分
14回 赤木	まとめ	予習：全配布資料を確認する	60分
15回 赤木	課題のフィードバックを行う	復習：自身の課題を確認する	30分

博物館展示論

菅野 ももこ

服飾文化学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

博物館における「展示」とは、各館が固有に掲げるポリシーに沿って収集し、調査し研究した結果を担当学芸員が中心となって、ある一つのテーマを設け、広く社会に公開する貴重な機会です。本授業では、学芸員のみならず、多くの専門的知識を有する人々が関わり、それぞれが持つ技術や知識を終結させて作り出される展覧会のシステムと、企画・構成段階からオープンまでの長い準備期間の課程、会期中の取り組みについて学びます。

到達目標(学修成果)

博物館における展示の歴史や、展示期間中の作品の保存管理、教育普及的側面について多角的に学ぶことができる。
これまで訪れたことのある博物館の展覧会を振り返りながら、本授業を受講する中で来館者としての視点と、新たに展覧会を生み出す側の視点を持って考えることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、卒業要件科目ではありません。
博物館学芸員資格取得のための学芸員課程必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内容に応じて用意する課題レポートについて、添削やコメントを付して対面で返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

課題内容に即した資料プリントを配布します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

状況により、日程や内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 菅野	ガイダンス シラバスの説明 世界の服飾博物館の紹介	予習: シラバスの確認。	30分
2回 菅野	博物館における展示 - 教育的視点の芽生えと発展 -	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
3回 菅野	展覧会の企画と構成 - 展示作品のセレクトと会場の検討 -	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
4回 菅野	博物館におけるグラフィックデザインと広報活動 - 展覧会準備の舞台裏 -	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
5回 菅野	アクティブラーニング - 本学衣裳博物館の所蔵品検索と企画展を構想する(1) -	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
6回 菅野	アクティブラーニング - 本学衣裳博物館の所蔵品検索と企画展を構想する(2) -	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
7回 菅野	会場の施工と展示什器 - マネキンのセレクトとケースの採寸 -	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
8回 菅野	作品の搬入と展示作業 - 美術梱包と専門技能 -	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
9回 菅野	展覧会の運営と作品保護 - 照明への配慮と虫害対策 -	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
10回 菅野	展覧会オープンに向けて - 内覧会のシステムと図録などの印刷物の配布 -	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
11回 菅野	展覧会のオープン - ギャラリートークと多様なプログラムの開催 -	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
12回 菅野	展覧会の終焉 - 借用資料の返却と収蔵庫への再配架 -	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
13回 菅野	アクティブラーニング - 本学衣裳博物館の所蔵品鑑賞ガイドの製作(1) -	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
14回 菅野	アクティブラーニング - 本学衣裳博物館の所蔵品鑑賞ガイドの製作(2) -	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分
15回 菅野	総括 課題レポートの提出と講評	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える。	30分

博物館教育論

浪川 幹夫

服飾文化学科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

博物館における教育は、博物館の総体であると考えなければならない。したがって、博物館の基本機能は、すべて博物館教育を目的としている。つまり、収集・保存・研究は展示と教育を目的としているので、博物館教育論は博物館の最終機能となる。

展示は博物館教育の基本であるが、展示論は別途科目として存在するため、ここでは展示及び展示関連事業を基本とした教育諸活動に焦点をあてて理解を求める。

到達目標(学修成果)

- ・博物館教育活動の歴史と概念の理解
- ・博物館における教育諸活動の具体的実践

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得して学芸員になるための資格を取得する方法)のために、文部科学省令の定める大学で習得するべき博物館に関する科目の単位の一つ。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業終了3日前から課題作成を行い、最終日に提出。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

授業資料プリントを作成する。

参考文献

授業時に適宜指示する。

オフィスアワー・研究室

前期 月曜日(14:00~14:30)

備考

成績表は、課題提出による。課題は、授業終了3日前から課題作成を行い、最終日に提出するものとする。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 浪川	ガイダンス 自己紹介 鎌倉の博物館紹介 授業の進め方	予習: シラバス(学芸員課程部分)をよく確認する	30分
2回 浪川	博物館法および関係法規から見る博物館教育(講義・前半)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
3回 浪川	博物館法および関係法規から見る博物館教育(講義・後半)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
4回 浪川	博物館教育の概念と歴史・教育論研究史(講義)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
5回 浪川	博物館教育の具体例 ミュ ジアムワークシート・ミュ ジアムワークショップ(講義)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
6回 浪川	博物館教育の具体例 講演会・講座・出前授業・各種ワークショップ(講義)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
7回 浪川	杉野学園衣裳博物館を見学(博物館教育論の視点から)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
8回 浪川	展示資料の取り扱いと、展示手法について(博物館教育論の観点から・実技)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
9回 浪川	博物館教育論の観点から行う、資料の研究手法(実技。絵巻物読解)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
10回 浪川	博物館教育論の観点から行う、資料の研究手法(実技。写真撮影についてと図録作成・概説・実技)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
11回 浪川	ミュ ジアムワークシートの作成のための概念説明及び実技(講義と、対象博物館選定・実技)	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り(ワークシート作成準備)	30分
12回 浪川	ミュ ジアムワークシートの作成(実技)	復習: ワークシートの作成	30分
13回 浪川	ミュ ジアムワークシートの作成(実技)	復習: ワークシートの作成	30分
14回 浪川	ミュ ジアムワークシートの作成(実技)	復習: ワークシートの作成および配布資料の読み返し、授業の振り返り	30分
15回 浪川	まとめ(成果物の提出と評価)	復習: 14回全体の振り返り	40分

博物館情報・メディア論

丸山 憲子

服飾文化学科 3年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

博物館を「情報」「メディア」という語をキーワードに学んでいく。「情報」「メディア」という用語の理解の上、実際の今日の博物館での資料の情報化他「情報」の諸相、「情報」の伝達手段としての「メディア」の実際について学習していく。

到達目標(学修成果)

博物館における「情報」「メディア」についての基本的知識の習得。
博物館活動における「情報」の本質について考察できることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格)のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

小テスト・試験後の解説

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に指示します。

参考文献

随時、紹介します。
課題内容に即した資料プリントを配布します。

オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

備考

博物館に関する時事問題を随時取り上げます。
学生の興味・関心に応じて弾力的に対応します。
普段から博物館見学、博物館に関する情報収集等積極的に行いましょう。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 丸山	オリエンテーション(博物館情報・メディア論の概要の説明・授業計画)	予習: シラバス(学芸員課程部分)を読んでおくこと。	30分
2回 丸山	コレクション・ドキュメンテーション について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
3回 丸山	コレクション・ドキュメンテーション について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
4回 丸山	データベース化、デジタル・アーカイブについて学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
5回 丸山	博物館における情報管理と情報発信について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
6回 丸山	博物館における権利関係について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
7回 丸山	技術革新と博物館活動について学習する。資料の情報化・情報管理・情報発信についてのまとめ(小テスト)	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回 丸山	広報と情報について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
9回 丸山	博物館における視聴覚メディアの歴史を学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回 丸山	今日の博物館展示における視聴覚メディアについて学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
11回 丸山	まとめ(小テスト)及びプレゼンテーションのための説明。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。プレゼンテーション準備。	60分
12回 丸山	実在する博物館を挙げてメディア論の観点よりプレゼンテーション	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。プレゼンテーション準備。	60分
13回 丸山	実在する博物館を挙げてメディア論の観点よりプレゼンテーション	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	30分
14回 丸山	博物館における映像展示の特性について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。全体の振り返り	60分
15回 丸山	総まとめ	復習: 全体の振り返り	60分